

やはたの丘

北九州市立八幡特別支援学校
校長 松永寿幸

4月21日（火）から23日（木）まで、学級担任・学級担当者による家庭訪問を実施しました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中、ご協力いただきまして、ありがとうございました。

本年度の学校経営案についてお知らせします。学校教育目標の達成に向かい、目指す児童生徒像、目指す学校像、目指す教職員像に一歩でも近づけるよう、職員一同努力する所存です。保護者の皆様のご協力やご支援、どうぞ、よろしくお願いいたします。

1 教育目標

知的障害のある児童生徒が、生涯にわたり生きがいをもって社会参加・自立できるよう、生きる力の育成を図る。

2 本年度の重点

（本年度の重点）

児童生徒が授業で生き生きと活動する、信頼感のある学校

（目指す児童生徒像）

- ① 礼儀正しい子（あいさつや笑顔など「心の育ち」）
- ② よく働く子（健康で安全な生活など「健やかな体」）
- ③ 自分でする子（学んだことを活かす「確かな力」）

（目指す学校像）

- ① 児童生徒が生き生きと活動し、喜んで登校する学校
- ② 保護者が安心でき、信頼できる学校
- ③ 地域や小・中学校等とつながり、信頼される学校

（目指す教職員像）

- ① チームワークがあり、笑顔と活力のある教職員
- ② 児童生徒を大切にし、保護者と協力する教職員
- ③ 日々、指導力と相談力の向上に努める教職員

本年度の重点に示す『児童生徒が授業で生き生きと活動する、信頼感のある学校』は、児童生徒が毎朝喜んで登校する学校であり、保護者や地域の皆様から信頼される学校です。そのためには、教職員がいつも目指す教職員像を意識し努力する必要があると考えます。また、児童生徒に関わるときには、いつも、目指す児童生徒像を意識して指導や支援を行う必要があると考えます。具体的には、『よりよい授業にする』ことを意識し、キャリア教育の視点から、児童生徒の発達段階や障害の状況、特性等に応じ、よりよい授業にするためのポイントに心がけて、小学部から高等部まで一貫した指導を行います。その一方では、平素より児童生徒のきめ細かな行動観察を行い、生徒指導上の課題に対して、児童生徒指導係と管理職が連携し、組織で先手の指導や支援を行います。

3 本年度の重点項目

よりよい授業にする

- ア 全ての教育活動において、児童生徒の実態に応じたあいさつやコミュニケーションを促す指導を心がける。
- イ 児童生徒一人一人の的確な実態把握を行い、各教科等の適切な指導目標を設定する。
- ウ 各教科等の指導目標の達成を目指し、指導内容・方法、指導体制を見直し、授業実践と評価を行う。
- エ 教育活動全体を通じて、児童生徒の主体的な活動を重視し、将来の自己選択・自己決定を促す指導を心がける。
- オ 高等部においては、産業現場等における実習や作業学習等、卒後の社会生活を見据えた職業教育の充実を図り、1年生から系統的な職業指導を行う。
- カ 高等部においては、就労支援専門家を活用した専門的な作業学習や出張清掃や出張喫茶を行い地域から学ぶ作業学習を実施する。
- ク 高等部においては、生徒一人一人に応じた進路指導を進めるため、労働、福祉等関係機関と連携し、進路開拓を図るとともに雇用促進の施策を活用した指導や支援を行う。
- ケ 生徒指導に当たっては、小・中学部でも高等部の生徒心得を参考にして、規則正しい生活習慣を育成し、ルールやマナーを守る指導を行う。
- コ 生徒指導上の課題やいじめ等の問題に対して、家庭や関係機関と連携し、早めの対応を心がげる。

保護者や地域とつながる

- 保護者に学校生活や学習の状況について丁寧に説明する。相談支援を通して適切な情報提供や助言を行う。
- 地域に関かれ、地域とともに歩む学校となるよう、地域の教育力の活用及び地域活動への参加、地域貢献活動や交流及び共同学習、学校見学、学校開放等を積極的に行う。
- 全市的なセンター的機能の取組を踏まえ、他の特別支援学校等とも協力し、地域の小・中学校や就学前施設等に助言援助を行う。

指導力・相談力を高める

- 専門医等臨床研修での指導・助言やスクールカウンセラーと連携した支援を通して、教師一人一人の指導力や相談力を高める。
- 高等部においては、就労支援専門家を活用した作業学習を通して、就業に必要な指導力を高める。
- 支援部の自立活動の指導及び相談支援に関する専門性と実践力を強化し、支援部の指導及び相談支援を生かす。
- 初任者研修の授業研究や研修を実施し、全教員で若手教員の育成を組織的に行う。

確かな学校運営を行う

- 命を守る教育の視点から、児童生徒の安全確保や事故防止、緊急時の対応など、常に危機管理意識をもつとともに、危機管理体制を整える。
- 児童生徒の個人情報等、情報管理体制を確立する。
- 学校自己評価・学校関係者評価等を実施し、学校運営上の課題改善に生かす。